

【部課名： 都市政策部水道課 】

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み		
水道施設維持管理事業		安全・安心な水道水の安定供給のため、配水場等の配水施設（配水管を除く）の運転管理及び配水場等の配水施設（配水管を除く）の電気、機械設備等の保守点検及び補修を行う。		指標	総計の現状値	R7実績値	効率的な施設の運用及び機器点検等を行い、安全・安心な水道水の安定供給ができた。	配水施設の維持及び効率的な水運用技術を委託業者に指導・監督を行う職員の水道施設の維持管理の継承が課題である。		
総合計画の位置づけ				水道の有収率（％）	92.6	93.2				
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち									
個別目標	水道水の安定供給と下水機能が整い災害にも備えているまち									
個別目標の方向性	安全安心な水道水を安定供給します	R7決算見込額	130,556	(	0)					
		R8予算額	139,665	(	0)					
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み		
水道情報管理システム整備事業		水道施設の位置、構造、設置時期等施設の基礎的事項を記載した水道施設台帳について、システムの更新・保守を行うことで、窓口業務の効率化及び災害時等の危機管理体制の強化を図る。		指標	総計の現状値	R7実績値	配水管情報をシステム化し、速やかな情報把握が進展したことで窓口業務における事務が効率化し、漏水発生時等における迅速な対応が可能となった。	昭和５０年頃までに施工された配水管には、詳細な情報が残っていないものがあるため、漏水修理時等に得られた情報を随時追加させていく必要がある。		
総合計画の位置づけ				铸铁管（CIP）残存率（％）	3.5	3.2				
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち									
個別目標	水道水の安定供給と下水機能が整い災害にも備えているまち									
個別目標の方向性	安全安心な水道水を安定供給します	R7決算見込額	5,676	(	0)					
		R8予算額	5,967	(	0)					
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み		
配水管維持事業		毎年度全戸対象に行っている漏水調査や、市民等からの通報により漏水箇所を特定し、修繕を行うことにより、漏水等による無駄な水資源の流出を防ぎ、有効率の低下を防ぐ。		指標	総計の現状値	R7実績値	令和7年度においては、136件の漏水を発見し、1,374千円の漏水損失を抑えた。	漏水発生時において、修理対応にあたる施工業者及び交通誘導員の確保が難しく、漏水対応に遅れが生じることが課題である。		
総合計画の位置づけ				水道の有収率（％）	92.6	93.2				
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち			铸铁管（CIP）残存率（％）	3.5	3.2				
個別目標	水道水の安定供給と下水機能が整い災害にも備えているまち									
個別目標の方向性	安全安心な水道水を安定供給します	R7決算見込額	76,385	(	0)					
		R8予算額	102,389	(	0)					

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
検針・料金収納業務		水道事業における検針・収納業務を委託することで、人件費等の経費削減を図り水道事業の経営健全に寄与する。委託業務の内容は、水道メーターの検針及び交換、水道料金の徴収、開閉栓等窓口受付、その他関連業務		指標	総計の現状値	R7実績値	指標への影響は直接的ではないが、水道料金の調定収納率を安定に保つことにより、水道事業の経営健全に寄与した。	検針・料金収納の業務委託（R6～R8の3年間）は、近隣2団体との合同選考をおこなっているが、次回選考も関係団体と合同選考をおこなう。
総合計画の位置づけ				水道の有収率（％）	92.6	93.2		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち							
個別目標	水道水の安定供給と下水機能が整い災害にも備えているまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
		R6決算額	86,028（ 0）					
個別目標の方向性	安全安心な水道水を安定供給します	R7決算見込額	87,258（ 0）					
		R8予算額	89,538（ 0）					
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
配水管整備事業		地震等の災害に強い水道施設の構築、安全・安心な水道水の安定供給のため、避難所となる小中学校や病院施設といった重要施設への耐震化及び被害率が高いと想定される管路の更新を行う。		指標	総計の現状値	R7実績値	計画に基づき耐震化事業を進めたことにより、避難所等重要施設への配水管が耐震化され、災害対応能力の向上を図った。	高度成長期に整備された水道管の老朽化が進行しており、管更新を一定のペースで進めていくための人員体制が必要であるが、ベテラン職員の退職や職員数の減少等により、経験豊富な市職員が不足していることが課題である。
総合計画の位置づけ				鋳鉄管（CIP）残存率（％）	3.5	3.2		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち							
個別目標	水道水の安定供給と下水機能が整い災害にも備えているまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
		R6決算額	587,423（ 0）					
個別目標の方向性	安全安心な水道水を安定供給します	R7決算見込額	462,350（ 0）					
		R8予算額	626,367（ 0）					